

東京書籍版 社会地理

定期テスト ズバリよくでる

解答集

第1編 世界と日本の姿

第1章 世界の姿

第2章 日本の姿

p.2

Step 1

- ① 太平洋 ② ユーラシア大陸 ③ ヨーロッパ州
- ④ 緯度 ⑤ 緯線 ⑥ 経線 ⑦ 本初子午線
- ⑧ 経度 ⑨ ユーラシア大陸 ⑩ 135度
- ⑪ 1時間 ⑫ 領域 ⑬ 排他的経済水域
- ⑭ 都道府県

p.3-5

Step 2

- ① ①ア ② 太平洋
- ③ B ユーラシア大陸 C オーストラリア大陸
- ② ① 記号ア ② 記号イ ③ 記号ウ
- ② ②ウ ③ d
- ③ ① X 赤道 Y 本初子午線
- ② 緯度北緯36度 経度東経140度
- ③ ① B ② A ③ A ④ B
- ④ ① ①エ ② ア ③ キ ④ ケ
- ② 標準時子午線
- ③ 明石市
- ⑤ ① 排他的経済水域 ② ①
- ③ 竹島 ④ C ⑤ 沖ノ鳥島
- ⑥ ① A 北海道地方 B 東北地方 C 関東地方
- D 中部地方 E 近畿地方
- F 中国・四国地方 G 九州地方
- ② 中央高地 ③ 県庁所在地

考え方

- ① ① ② 地球の表面には、太平洋、大西洋、インド洋の三大洋があり、最も広いのは太平洋である。
- ③ Bは六大陸の中で最も面積の広いユーラシア大陸で、アジア州とヨーロッパ州がふくまれる。Cはオーストラリア大陸で、最も小さい大陸である。

- ② ① ① チリは南アメリカ州の太平洋側にある国で、南北に細長い。
- ② 世界最大の面積の国はロシアで、カナダ、アメリカ、中国と続く。
- ③ 内陸国とは海に面していない国である。アフリカ、ヨーロッパ、中央アジアに多い。
- ② 世界には190余りの国があり、形や面積、人口、自然がさまざまである。
- ③ 地図中のdは北緯49度を示し、緯線を利用した国境になっている。
- ③ ① Xの赤道は、アフリカの中央、シンガポール付近、アマゾン川河口部を通過する。Yの本初子午線は、イギリスのロンドンを通過する。
- ② 東京は「北緯」「東経」の範囲に位置する。
- ③ Aの地図は、陸地の面積がほぼ正しいが、赤道からはなれるほど形がゆがむ。Bは中心からの距離と方位が正しいが、中心からはなれるほど形がゆがむ。
- ④ ① ④ 経度の差が15度で1時間の時差が生じるので、30度の差があると2時間の時差となる。
- ② ③ 東経135度は兵庫県明石市を通り、日本の標準時を決める子午線である。
- ⑤ ① ② 排他的経済水域は沿岸から200海里（約370km）以内と決められた海域で、自国の水産資源や鉱産資源を自由に利用できる。
- ③ 韓国が不法に占拠しているのは竹島（島根県）、中国や台湾が領有権を主張しているのは尖閣諸島（沖縄県）なので、間違えないようにしましょう。
- ④ ⑤ 沖ノ鳥島は岩礁が海面に出ているだけの島だが、その排他的経済水域は日本の国土面積よりも広いので、政府は島が侵食しないように、護岸工事を施している。

- ⑥ ① Fの中国・四国地方は、中国地方と四国地方に分けることもある。
- ② 中部地方の新潟県・富山県・石川県・福井県は北陸，長野県，山梨県，岐阜県北部は中央高地，静岡県，愛知県，岐阜県南部，三重県は東海とよぶ。

p.6-7

Step 3

- ① ① A ロシア B モンゴル
C ニューゼーランド D アメリカ
E ブラジル
- ② ① 内陸国 B 海洋国 C
- ③ ① ㉞, ㉟
- ④ 9時間
- ⑤ 9月21日午後7時
- ② ① ㉞ ② ㉞
- ③ ① × ② × ③ ○ ④ ○ ⑤ ×
- ③ ① A 択捉島 B 南鳥島 C 沖ノ鳥島
D 与那国島
- ② 写真 I B 写真 II C
- ③ 排他的経済水域
- ④ 200海里
- ⑤ 例 水産資源や鉱産資源を独占的に調査できる権利。
- ⑥ ロシア
- ⑦ 北方領土
- ⑧ ㉞ ⑨ ㉞

考え方

- ① ② 内陸国は海に面していない国で，Bのモンゴル。海洋国は海に囲まれた国で島国ともいう。地図ではCのニューゼーランドが当てはまる。
- ③ ㉞ 日本の南北の位置は，およそ北緯20度から46度になるので誤り。
㉞ 日本はユーラシア大陸の東に位置するので誤り。
- ④ 地球は1周360度自転するのに24時間かかるため，15度で1時間の時差が生じる。時差は〈経度差÷15(度)〉で求めるので，東京とロンドンの時差は，〈(135-0)÷15=9〉で9時間となる。

- ⑤ 経度差は〈135-30=105(度)〉なので，時差は〈105÷15=7(時間)〉となる。カイロは東京よりも西にあるため時差の分だけ時刻をもどすと，9月21日午後7時となる。
- ② ① 陸地の面積が正しい地図は㉞である。
- ② ㉞の地図は緯線と経線が直角に交わっており，2地点を結ぶ直線を引くと，緯線と経線との角度が一定になる。
- ③ 中心からの距離と方位が正しい㉞の地図を見て答える。
- ① ナイロビは東京から見て西にあるので×。
- ② オーストラリア大陸は，東京から5000～10000kmの範囲にあるので×。
- ⑤ ㉞の地図ではグリーンランドはオーストラリア大陸よりも大きく表されているが，面積の正しい㉞の地図を見ると，グリーンランドのほうが小さいので×。
- ④ ① 東端の島名は南鳥島なので，南端の沖ノ鳥島と混同しないようにしましょう。
- ② 写真 I はBの南鳥島で，現在は海上自衛隊と気象庁の施設が置かれている。
- ③ ④ ⑤ 地図中のXは排他的経済水域である。沿岸から200海里(約370km)以内と決められた海域で，自国の水産資源や鉱産資源を自由に利用できる。日本は海洋国のため，排他的経済水域の面積が広い。
- ⑥ ⑦ ⑧ 地図中のYは北方領土で，ロシアが不法に占拠している。北方領土には歯舞群島，色丹島，国後島，択捉島がふくまれる。奥尻島は北海道南部の日本海にある島である。
- ⑨ 竹島は島根県隠岐の島町に属した日本固有の領土だが，現在は韓国が不要に占拠している。

第2編 世界のさまざまな地域

第1章 世界各地の人々の生活と環境

p.8

Step 1

- ① 寒帯 ② イヌイット ③ 冷帯 ④ タイガ
- ⑤ 永久凍土 ⑥ 温帯 ⑦ 地中海性気候
- ⑧ 乾燥帯 ⑨ 熱帯 ⑩ 高山気候 ⑪ キリスト教
- ⑫ イスラム教 ⑬ 仏教

p.9-11

Step 2

① ① I 寒帯 II 冷帯

② イヌイット

③ ①, ② ④ II

⑤ タイガ

② ① ア, ②

② ウ, ③

③ ① 乾燥帯

② ①, ②

③ オアシス

④ サヘル

⑤ 焼畑農業

④ ① A 高山気候 B 熱帯

② ウ

③ リヤマ

④ 熱帯雨林

⑤ ① ① C ② B ③ A ④ D

② 例 北海道と東北地方の一部は冷帯(亜寒帯)で、多くは温帯である。

⑥ ① イスラム教

② コーラン

③ ヒンドゥー教

考え方

- ① ① ② 写真Ⅰはイグルーとよばれるドーム型の住居で、寒帯に住むイヌイットがかつて居住していた。写真Ⅱは冷帯に広がるタイガとよばれる針葉樹林の森林である。
- ③ イヌイットはカナダ北部の寒帯の地域に住む人々で、現在は町で電気や暖房のある住居に住んでおり、犬ぞりに代わってスノーモービルを使って狩りや漁を続けている。
- ④ 雨温図を見ると、夏は月平均気温が10度をこえて暖かいので、冷帯である。
- ② ① ローマも東京も温帯の都市であるが、季節の降水量に違いがある。東京は夏の降水量が多いが、ローマは乾燥することを読み取る。
- ② 夏に気温が高く乾燥する気候に適しているのは、ぶどうとオリーブである。
- ③ ① 草木がないこと、らくだがいることから乾燥帯だと判断する。

- ② 乾燥帯の砂漠ではらくだは生活と密接に結び付いており、荷物を運んだり、乳や肉は貴重な食料にもなる。
- ③ 砂漠には、自然のわき水や井戸などで水が得られるオアシスが点在している。
- ④ サハラ砂漠の南には、サヘルとよばれる樹木や草が少しだけ育つ地域が広がっている。
- ⑤ サヘルなどの乾燥帯の地域では、樹木などを切りはらって、燃やした灰を肥料とする焼畑農業が行われてきた。
- ④ ① ② 赤道に近い地域は熱帯に属している地域が多い。しかし、標高が100m上がると気温は約0.6℃下がることから、赤道付近でも高山では年平均気温が低く、高山気候となる。以上のことから、雨温図のAは高山気候で、Bは熱帯である。
- ③ 高山で多く飼育されている家畜はリヤマとアルパカである。リヤマは荷物の輸送に使い、アルパカの毛はポンチョなどの衣類の原料となる。
- ④ 熱帯には熱帯雨林が広がり、多くの動植物が生息している。
- ⑤ ① 気温の折れ線グラフから気候帯を判断し、次に降水量の棒グラフから気候区を考えるようにする。
- ① 温帯で、降水量の変化が激しいのでCの温暖湿潤気候。
- ② 乾燥帯で、わずかに雨の降る時期があるのでBのステップ気候。
- ③ 熱帯で、乾季と雨季があるのでAのサバナ気候。
- ④ 冬の気温が-30℃近くまで下がるので、Dの冰雪気候。
- ② 広い範囲が温帯で、東北地方北部より北は冷帯(亜寒帯)であることが書いてあれば正解。
- ⑥ ① ② 1日5回、聖地メッカに向かっていることが決まりとなっているのはイスラム教である。
- ③ インドの80%以上の人々が信仰するヒンドゥー教では、聖なる川であるガンジス川で沐浴して身体を清める習慣がある。

p.12-13

Step 3

- ① ① C, 地中海性気候
 ② D, 冷帯(亜寒帯)気候
 ③ A, 熱帯雨林気候
 ④ B, 砂漠気候
 ⑤ E, 高山気候
- ② ① B ② A ③ D
 ④ A イスラム教 B キリスト教 C 仏教
 D ヒンドゥー教
- ③ ① 乾燥帯
 ② ㊦, ①
 ③ 例 永久凍土に熱が伝わらないようにするため。
 ④ タイガ
 ⑤ ①○ ②× ③○ ④× ⑤×

考え方

- ① ① 温帯には3つの気候区がある。夏に乾燥し冬に雨が降るのは地中海性気候でC。雨が多く季節による気温や降水量の変化が大きいのは温暖湿潤気候で、日本も広い範囲がふくまれる。緯度が高いわりには寒くなく、一年を通して雨が降るのは西岸海洋性気候である。
- ② 雨温図の気温の折れ線を見ると、冬の気温が -20°C 近くまで下がるが夏は 10°C 以上になるので冷帯(亜寒帯)気候である。夏が 10°C に満たないような地域は寒帯となる。
- ③ 熱帯雨林が広がる気候区は熱帯雨林気候でAの地域である。同じ熱帯のサバナ気候は熱帯雨林気候の周辺にあり、まばらな樹木とたけの長い草原が広がる。
- ④ 一年を通してとても雨が少なく、オアシスが点在するのは砂漠気候でB。ステップ気候は降水量は少ないが雨が降る時期がある。
- ⑤ 標高が高く気温が低い気候区は高山気候である。ヒマラヤ山脈、ロッキー山脈、アンデス山脈の高地などに分布している。
- ② ① キリスト教は、ヨーロッパ、南北アメリカ、オーストラリアを中心に広がり、信者の人口も最も多い。
- ② イスラム教には多くの宗教的な決まりがある。1日5回の礼拝や断食、酒や豚肉の飲食の禁止など、日常生活で決まりを守りながら生活している。
- ③ 牛を神の使いとするのはヒンドゥー教で、インドの80%以上の人信仰している。ヒンドゥー教を信仰する人の多くは身を清めるためにガンジス川で沐浴をする。
- ④ キリスト教、イスラム教、仏教を三大宗教とよび、他にもヒンドゥー教やユダヤ教など、多数の宗教がある。
- ③ ① 草木がないこと、らくだがいることから乾燥帯だと判断する。らくだは少ない水分でも生きていけるため、乾燥帯の砂漠で生活と密接に結び付いており、荷物を運ぶ他、乳や肉は貴重な食料にもなる。
- ② ㊦ 樹木が少ないため、多くの住居は土を固めた日干しレンガなどで造られているので誤り。
 ㊧ 近年は人口が増え、より多くの食料や燃料が必要となっていることが課題である。現在、国際連合や各国による援助が行われている地域も少なくない。
- ③ 永久凍土とは冷帯のタイガの下に広がる、一年中こおったまの土をいう。永久凍土の上に住居が建つと、家屋の熱のため凍土が解けて家屋が傾くため、高床にして熱が凍土に伝わることを防いでいる。ここでは「熱が土に伝わらないようにする」ことが書いてあれば正解。
- ④ 冷帯のシベリアに広がる針葉樹林をタイガとよぶ。
- ⑤ ② イタリアのぶどう畑が広がる地域は、夏に乾燥する地中海性気候である。夏の日差しを避けるために、窓は小さくして、外側には木のとびらをつける家屋が多いので×。
- ④ りんごやなしも温帯で作られる作物だが、地中海性気候のような夏の乾燥にたえる作物ではないので×。
- ⑤ 地中海性気候なので×。温暖湿潤気候は大陸の東部に分布しており、日本もほとんどの地域が温暖湿潤気候である。

第2章 世界の諸地域①

p.14

Step 1

- ① ヒマラヤ山脈 ② モンスーン (季節風)
 ③ アジアNIES (新興工業経済地域)
 ④ 経済特区 ⑤ 東南アジア諸国連合 (ASEAN)
 ⑥ ICT (情報通信技術) 産業
 ⑦ 石油輸出国機構 (OPEC) ⑧ 偏西風
 ⑨ EU (ヨーロッパ連合) ⑩ 酸性雨
 ⑪ 経済格差 ⑫ ハイテク産業

p.15-17

Step 2

- ① ① a 黄河 b 長江 c メコン川 d ガンジス川
 ② ヒマラヤ山脈
 ③ 世界の屋根
 ④ ① シンガポール ② リヤド
 ⑤ 例 南からしめったモンスーンがふくため。
 ② ① 経済特区
 ② アジアNIES (新興工業経済地域)
 ③ ASEAN
 ④ ①
 ③ ① A インド B サウジアラビア
 ② ヒンドゥー教
 ③ イスラム教
 ④ ベンガルール
 ⑤ OPEC
 ⑥ レアメタル
 ④ ① a ライン川 b アルプス山脈
 ② X 北大西洋海流 Y 偏西風
 ③ フィヨルド
 ④ ① パリ ② ローマ
 ⑤ キリスト教
 ⑥ 夏の乾燥 (夏の少雨)
 ⑤ ① ヨーロッパ共同体 (EC)
 ② ユーロ
 ③ ユーロスター ④ ㊦
 ⑥ ① GNI
 ② ① ㊵ ② ㊶ ③ ㊷ ④ ㊸

考え方

- ① ③ アジア州中央部の8000mを超える山々が連なるヒマラヤ山脈やチベット高原は「世界の屋根」とよばれる。
 ④ ① 気温の折れ線から熱帯のシンガポールだと判断する。
 ② 降水量が少ないため、乾燥帯のリヤドだと判断する。
 ⑤ 東南アジアや南アジアにはインド洋からしめったモンスーン (季節風) がふくため降水量が多い。逆に冬は大陸から乾燥したモンスーンがふくため乾季となる。
 ② ① 中国では1980年代から経済の改革が進められ、経済特区を設けて外国企業を受け入れた。
 ② 大韓民国 (韓国), シンガポール, 台湾, ホンコン (香港) は、早くから工業化を進めて急成長した。これらの国や地域をアジアNIES (新興工業経済地域) とよぶ。
 ③ ASEAN (東南アジア諸国連合) は、東南アジアの国々が経済成長や文化の発展などを目的に参加している機関である。
 ④ GDPとは国内総生産のことで、一定期間内に国内で新たに生み出されたモノやサービスの付加価値のこと。中国の沿岸部はGDPが大きい、内陸部は低いことがわかる。
 ③ ② Aの国はインドで、ヒンドゥー教が広まっている。
 ③ Bの国はサウジアラビアで、イスラム教^{はっ}の国である。
 ④ aはベンガルールで、欧米企業^{おうべい}が進出するICT (情報通信技術) 産業の中心地である。
 ⑤ Xの国々はOPEC (石油輸出国機構) 加盟国で、産油国の利益を確保するために設立された。他にもアフリカのアルジェリアや南アメリカのベネズエラなどの産油国も加盟している。
 ⑥ Yの中央アジアは、電子機器などに使われるレアメタル (希少金属^{ふ、きょう}) の産地である。近年、スマートフォンなどの普及^{ふく}で、レアメタル^{じゅよう}の需要が高まっている。

- ④ ② ヨーロッパが高緯度にもかかわらず温暖なのは、暖流の北大西洋海流の上空を西にふく偏西風の影響のためである。
- ③ フィヨルドとは氷河によってけずられた長い谷に、海水が入ってできた地形である。
- ④ ① は一年を通して降水量があるので、西岸海洋性気候のパリ。② は夏に乾燥する地中海性気候のローマである。
- ⑥ 地中海性気候なので、夏に乾燥することが書いてあれば正解。
- ⑤ ① ② EUはヨーロッパ共同体（EC）が発展して設立された。2002年には共通通貨のユーロが導入され、域内の多くの国で流通している。
- ④ ② EU域内ではパスポートがなくても行き来が自由のため、国をこえて通勤や買い物に行く人も多い。
- ⑥ ① 国民総所得（GNI）とは、国民が一年間に得た所得の合計で、国の豊かさを測る経済指標である。
- ② 「EU各国の一人あたりの国民総所得」の地図から西ヨーロッパはGNIが高く、東ヨーロッパや南ヨーロッパでは低いことがわかる。これらの格差がヨーロッパの課題の一つである。

p.18-19

Step 3

- ① ① A
② モンスーン
③ ①
④ a キリスト教 b ヒンドゥー教
c イスラム教
⑤ d マレーシア e インドネシア
⑥ プランテーション
⑦ X ASEAN Y OPEC
- ② ① ①× ②○ ③× ④○
- ② 例 EUに加盟する国の間では貿易品に関税がかからないため。
- ③ ユーロ
④ ユーロスター
- ⑤ 例 西ヨーロッパと東ヨーロッパでは、経済格差がある。
- ⑥ ②

- ③ ① ①× ②× ③○ ④○
② ①○ ②× ③× ④○

考え方

- ① ① ② ③ 東南アジアと東アジアには、冬は大陸から、夏はインド洋からモンスーン（季節風）がふく。夏のしめったモンスーンによって東南アジアには多くの雨が降り、世界的な稲作地帯となっている。
- ④ a のフィリピンはかつてスペインの植民地だったため、キリスト教徒が多い。
- ⑤ ⑥ d のマレーシアや e のインドネシアにはヨーロッパ人が開いたプランテーションとよばれる大農園があり、現在では現地の人々によって経営されている。
- ⑦ X は東南アジアの国々が経済成長や文化の発展などを目的に加盟しているASEAN（東南アジア諸国連合）。Y は産油国の利益を確保するために設立されたOPEC（石油輸出国機構）である。
- ② ① ① EUの人口は約5.1億人、アメリカは約3.2億人なので×。
③ アメリカの面積は約983万km²、EUは約437万km²で約2.2倍なので×。
- ② 関税とは貿易品（主に輸入品）にかかる税で、EU加盟国間の貿易には関税がかからない。そのため、自由に貿易ができる。ここでは「貿易品に関税がかからない」ことが書いてあれば正解。
- ⑤ 「EU各国の一人あたりの国民総所得」の地図から西ヨーロッパはGNIが高く、東ヨーロッパや南ヨーロッパでは低いことがわかる。ここでは、「西ヨーロッパと東ヨーロッパでは、経済格差がある」または「西ヨーロッパと東・南ヨーロッパでは、経済格差がある」ことが書いてあれば正解。
- ⑥ GNIの低い東・南ヨーロッパの労働者は高い賃金を求めてドイツやイギリスなどの西ヨーロッパの国々に移動している。
- ③ ① ① 中国では西部より東部の一人あたりのGDPが高く、東部は農業より工業が発達していると考えられるので×。

② 東部にある首都ペキンには、急速な都市化に環境対策が追いつかず、大気汚染が問題となっていることから、人口も集中していると考えられるので×。

② ② ドイツでは、全発電量にしめる再生可能エネルギーの割合が増加しているので×。

③ デンマークやドイツ、スペインでは、全発電量にしめる再生可能エネルギーの割合が増加しており、環境に配慮した工業生産が進められていると考えられるので×。

第2章 世界の諸地域②

p.20

Step 1

- ① プランテーション ② 遊牧 ③ レアメタル
- ④ モノカルチャー経済 ⑤ アフリカ連合 (AU)
- ⑥ NAFTA ⑦ ヒスパニック
- ⑧ 適地適作 ⑨ 企業的な農業
- ⑩ サンベルト ⑪ シリコンバレー

p.21-23

Step 2

- ① ① A サハラ砂漠 B ナイル川 C コンゴ盆地
- ② ② 0度 ③ ケープタウン
- ④ イスラム教 ⑤ ㊶ ⑥ 奴隷^{どれい}
- ② ① ① プランテーション ② モノカルチャー
- ③ レアメタル ④ AU
- ② ㊶ ③ ㊵
- ③ ① a ロッキー山脈 b ミシシッピ川
- ② ① アンカレジ ② ロサンゼルス
- ③ ハバナ
- ③ ① ㊵, ㊶
- ④ ① ① ㊶ ② ㊶ ③ ㊵ ② A ㊵ B ㊶
- ③ 適地適作 ④ 企業的な農業
- ⑤ ① ① A ② C ③ B
- ② シリコンバレー ③ ㊵
- ⑥ ① ① ㊵ ② ㊶ ② ヒスパニック ③ ㊵

考え方

- ① ② アフリカにおける赤道は、南北のほぼ中央を通る。
- ③ 気温の折れ線を見ると、7月が冬なので南半球の温帯に位置するケープタウンだと判断できる。

④ アフリカではサハラ砂漠以北ではイスラム教、以南はキリスト教と各地で古くから信仰されている宗教が混在している。

⑤ ヨーロッパの支配を受けていないのはエチオピア、リベリアと南アフリカ連邦（現在の南アフリカ共和国）だけである。

② ① アフリカには、単一の農産物や鉱産資源の輸出にたよるモノカルチャー^{じゅよう}経済の国が多い。近年はレアメタルの需要が高まり、赤道以南の国々で多く産出されている。

② ③ コートジボワールは輸出額の30%がカカオ豆^(2015年)で、コンゴ民主共和国のコバルト^(2015年)産出量は世界の2分の1をしめる。

③ ② ① 気温から冷帯だと判断できるのでアンカレジ。

② 温帯で夏に降水量が少ないので地中海性気候のロサンゼルス。

③ 気温から熱帯だと判断できるのでハバナ。

③ ㊶ ヨーロッパから来た移民は先住民の土地をうばって開拓を進めるなどしたので誤り。

① NAFTAは、2020年7月に失効し、代わりに米国・メキシコ・カナダ協定 (USMCA) が発効された。

㊵ カナダの公用語は、英語とフランス語なので誤り。

④ ① ② アメリカの農業は、西経100度を境に東では主にとうもろこし、大豆、綿花、小麦の栽培と酪農が盛ん。西は小麦の栽培と放牧が中心である。

③ アメリカでは、それぞれの環境に適した単一の農作物を栽培する適地適作が行われている。

④ アメリカでは、大型の機械や設備を導入して、少ない労働力で広い面積を経営する企業的な農業が中心である。

⑤ ① ② アメリカの工業は、五大湖周辺のAで重工業中心に発達した。近年ではXのシリコンバレーのようにICT産業が発達している。

③ 北緯37度以南の温暖な地域をサンベルトとよび、ICT産業が特に発達している。

⑥ ② ③ ヒスパニックはアメリカの重要な労働力であり、近年はICT産業に従事するアジア系移民が増加している。

p.24-25

Step 3

- ① ① A ⊕ B ⊙
 ② a ⊙ b ⊕ c ⊕
 ③ モノカルチャー経済
 ④ 例 植民地支配が続き、農業や鉱業以外の産業が発達しなかったから。
 ⑤ プランテーション
 ② ① ① デトロイト ② ピッツバーグ
 ③ シリコンバレー
 ② 例 Xより南のICT産業が発達した地域。
 ③ アジア系 ④ ⊕
 ③ ① センターピボット (方式)
 ② 例 少ない労働力で、広い耕地に水やりができる。
 ③ フィードロット
 ④ ① × ② ○ ③ ○ ④ ○
 ⑤ ① ⊕ ② ⊕ ③ ⊙ ④ ⊕
 ⑥ ⊕

考え方

- ① ① 20世紀初め、ヨーロッパ諸国は競ってアフリカを支配し、領土を拡大していった。イギリスはエジプトと南アフリカを結ぶ政策をとり、フランスはアルジェリアから侵攻し、アフリカを横断する政策をとり、イギリスと対立した。
 ② ③ グラフにある3か国とも農作物や鉱産資源にたよるモノカルチャー経済の国々である。特にボツワナはダイヤモンド、ナイジェリアは石油に依存する割合が高い。このような国々は、ダイヤモンドや石油の価格が下落すると国の経済に与える影響が大きい。
 ④ 大半がヨーロッパ諸国の植民地となったアフリカの国々の役割は、ヨーロッパ諸国に原材料を与えることと、ヨーロッパで生産された工業製品の市場となることであった。そのため、産業が発達しなかった。ここでは「植民地支配が続き、農業や鉱業以外の産業が発達しなかった」ことが書いてあれば正解。
 ⑤ ヨーロッパ諸国の資本で開かれた大農園をプランテーションという。
- ② ① アメリカの工業は、デトロイトの自動車工業やピッツバーグの鉄鋼業など、最初に五大湖周辺の重工業が発達した。その後、シリコンバレーのようなICT (情報通信技術) 産業で世界をリードしていくようになった。
 ② 地図中のXは北緯37度を示し、これより南の温暖な地域をサンベルトとよぶ。サンベルトではICT関連企業が集中している。
 ③ シリコンバレーのICT関連企業で働く人はヨーロッパ系が多いが、近年は大学などで学んだアジア系の移民が産業を支えるようになってきている。
 ④ ヒスパニックとは、メキシコや中央アメリカ、西インド諸島の国々からアメリカに移住した人々で、メキシコ国境に近い南部の州に多い。
- ③ ① ② 写真Ⅰはセンターピボットとよばれる大規模なかんがい設備である。このように、アメリカでは大規模な機械や設備を導入することで、少ない労働力で広い耕地を経営している。ここでは「少ない労働力で、広い耕地に水やりができる」ことが書いてあれば正解。
 ③ フィードロットは、とうもろこしなどの飼料を与え、牛を大規模に育てる肥育場である。
 ④ ① アメリカでは、大規模の農地を少ない労働力で経営するのが主流のため×。
 ⑤ アメリカの農家は、大型の機械や設備を導入することで、広い農地を少ない労働力で経営している。一方日本の農家は、多くの労働力でせまい農地を経営していることを基に考えよう。
 ① ② 農民一人あたりの農地面積はアメリカは広く日本はせまい。
 ③ ④ 農民一人あたりの穀物の収穫量は、アメリカは多く、日本は少ない。
 ⑥ アメリカの農牧業は、西経100度の経線を境に東部は雨が多く、西部は雨が少ない。西部で放牧が盛んなのは、乾燥していて作物栽培に適さないためである。

第2章 世界の諸地域③

p.26

Step 1

- ① アンデス山脈 ② アマゾン川 ③ インカ帝国
 ④ 焼畑農業 ⑤ チリ ⑥ バイオエタノール
 ⑦ ミクロネシア ⑧ アボリジニ ⑨ マオリ
 ⑩ 羊 ⑪ 牛 ⑫ APEC ⑬ 華人 ⑭ 白豪主義

p.27-29

Step 2

- ① ① A アンデス山脈 B ラプラタ川
 C ブラジル高原
 ② 0度
 ③ ① ラパス ② ブエノスアイレス
 ④ インカ帝国
 ② ① ① ② 焼畑農業 ③ ⑤
 ③ ① ㉞, ㉟
 ② ① チリ ② ブラジル
 ③ バイオエタノール
 ④ 再生可能エネルギー
 ④ ① X ミクロネシア Y メラネシア
 Z ポリネシア
 ② A グレートディバイディング山脈
 B 大鑛井盆地
 ③ ① パース ② フナフティ
 ④ ① アボリジニ ② マオリ
 ⑤ ① ① ㉠ ② ㉡ ③ ㉢ ④ ㉣
 ② a ㉤ b ㉥
 ③ APEC
 ⑥ ① ヨーロッパ州
 ② 白豪主義
 ③ 華人 ④ ㉦

考え方

- ① ② 南アメリカ大陸における赤道は、アマゾン川河口を通る。
 ③ ①は年平均気温があまり高くないので、高山気候のラパス。②は夏の気温が冬より低くなっているため、南半球のブエノスアイレスと判断する。
 ④ マチュピチュは標高2000m以上の山岳地域に築かれたインカ帝国の遺跡。
 ② ① アマゾン川は魚の種類が豊富で、流域では漁業が盛んである。

- ② ③ 焼畑農業は古くから行われてきた農業で、移動して行うため、耕作をしない土地は長い年月をかけて新しい森林となることで、森林を守る働きもしている。
 ③ ① ④ 地図の凡例を見ると、アマゾンの開発は、鉄鉱山や農牧林業など、総合的な開発が行われていることがわかるので誤り。
 ⑤ 開発の範囲は、西のペルーやボリビア国境まで広がられているので誤り。
 ③ さとうきびやとうもろこしなどの植物原料からとれるアルコール燃料をバイオエタノールとよび、ブラジルでは生産が盛んである。
 ④ バイオエタノールや太陽光、地熱、風力など、くり返し使うことのできるエネルギーを再生可能エネルギーという。
 ④ ① ミクロネシアは「小さい島々」、メラネシアは「黒い島々」という意味で、太平洋の島の中で面積の比較的大きい4つの国からなる。ポリネシアは「多くの島々」という意味である。
 ③ ①は気温から温帯なのでパース、②は気温から熱帯なのでフナフティ。
 ④ アボリジニもマオリも政府の保護を受け、それぞれの文化が尊重されている。
 ⑤ ① 年降水量250~500mmの地域は主に牧羊、500mmの地域では小麦、500~1000mmの地域は牧牛、1000mm以上では酪農が行われている。
 ② オーストラリアの貿易は、羊毛、小麦、肉類中心から、鉄鉱石、石炭、天然ガスへと変化してきた。
 ③ APEC（アジア太平洋経済協力）は、アジア太平洋地域の21の国と地域が参加する経済協力である。
 ⑥ ① ② 19世紀半ば以降、中国人などが安い賃金で働くようになると、政府は白豪主義の政策をとり、アジア系などの移民制限を行った。1973年に制限をなくすと、アジア系移民は増えていった。
 ④ 現在、アボリジニに対する政策は見直され、先住民としての権利が尊重されている。

p.30-31

Step 3

① ① A アマゾン川 B ラプラタ川

C アンデス山脈

② チリ ③ ㊥

④ ①○ ②× ③× ④○

⑤ 焼畑農業

⑥ 例 原料のさとうきびを作るために森林を破壊するため。

② ① ①○ ②○ ③× ④×

② 例 国が白豪主義の政策を行っていたから。

③ ① ① 牧羊 ② 牧牛 ③ 酪農

② A ㊥ B ㊦ C ㊧ D ㊨

③ 露天掘り ④ ㊦, ㊥

考え方

① ② ③ Yはチリで、太平洋側の南北に細長く位置する国土が特徴的である。チリは銅鉱石を多く産出し、日本の銅鉱石の輸入相手国に中で最も輸入量が多い。

④ ② 開発が行われている地域は熱帯雨林が多く、多種多様な動植物が生息地域を追われているので×。

③ 油田や鉄鉱山の開発は、環境に大きな影響をあたえるため×。

⑤ 木を切りたおして燃やすことで灰をつくり、バナナやいも、とうもろこし、豆などを栽培する農業は焼畑農業である。

⑥ バイオエタノールは植物原料であり、植物は生長過程で地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収している。バイオエタノールを使用すると二酸化炭素が排出されるが、植物の生長時期に吸収しているため、二酸化炭素の総量は増えないとされている。一方で、バイオエタノールの原料となるさとうきびを生産するために、森林を破壊していることが課題である。

② ① ③ 1981年のヨーロッパ州からの移民の割合は70.7%で、その後は41.3%、32.6%と減っているため×。

④ 2011年のヨーロッパ州からの移民の数は、648.6万人の32.6%で約211万人。1901年は86.5万人のうち87.2%がヨーロッパ州からの移民で、約75万人である。1901年のほうがヨーロッパ州からの移民の割合は大きいですが、実際の人口は少ないので×。

② 1970年代まで、政府は白豪主義の政策をとり、アジア系などの移民制限を行ったため、アジア州からの移民はいなかった。ここでは「白豪主義の政策を行っていた」ことが書いてあれば正解。

③ ① 地図Ⅰの年降水量を表す線を読み取りながら答えよう。年降水量250～500mmの地域では牧羊、大鑽井盆地と年降水量500～1000mmの地域では牧牛、年降水量1000mm以上の地域では酪農が行われている。

③ ④ 写真の鉱山は金の鉱山で、地表から直接掘っていく露天掘りの鉱山である。一般の鉱山が坑道を掘って採掘するのに対し、露天掘りでは、地表から大型の機械でらせん状に掘り進めるため、コストが安く済む。露天掘りは、地表近くに鉱脈のある産地で行われる採掘方法である。

第3編 日本のさまざまな地域

第1章 地域調査の手法

第2章 日本の地域的特色と地域区分

p.32

Step 1

① 縮尺 ② 等高線 ③ 地図記号

④ 日本アルプス ⑤ フォッサマグナ ⑥ 扇状地

⑦ 大陸棚 ⑧ 季節風（モンスーン）

⑨ 火力発電 ⑩ 再生可能エネルギー

⑪ 太平洋ベルト ⑫ 第三次産業 ⑬ 過疎

p.33-37

Step 2

① ① ㊦ ② ㊥

③ 500m ④ ㊨

② ① ㊥ ② D→B→C→A

③ ① a 関東平野 b 利根川

② フォッサマグナ

③ 赤石山脈 ④ 日本アルプス

⑤ ① 扇状地 ② 三角州

- 4 ① ① ① ② ア ③ ウ ④ ㊥
- 2 ① B ② A
- 3 温暖湿潤気候
- 5 ① 東日本大震災
- 2 津波
- 3 火砕流
- 4 ハザードマップ
- 6 ① ① ㊤ ② カ ③ ㊥ ④ キ ⑤ ア ⑥ ウ
- 2 人口ピラミッド
- 3 ①
- 4 過疎
- 7 ① A ㊤ B ㊥ C ①
- 2 ブラジル
- 3 火力発電
- 4 例 発電の過程で、地球温暖化の原因になる温室効果ガスを排出する。
- 8 ① A 北関東工業地域 B 京浜工業地帯
- C 阪神工業地帯 D 北陸工業地域
- 2 太平洋ベルト ③ ①
- 4 米, 野菜
- 9 ① 例 自動車輸送の割合は増加しているが、鉄道輸送は減ってきている。
- 2 ① ㊥ ② ア ③ ①
- 3 リニア中央新幹線
- 10 ① ㊤ ② ㊤

考え方

- ① ① Xの範囲には「X(交番)」の地図記号はない。
- ② トンネルの西側の出入口には「㊤(発電所・変電所)」がある。
- ③ 実際の距離は〈地図上の長さ×縮尺の分母〉で求める。この地形図は2万5000分の1なので、 $\langle 2(\text{cm}) \times 25000 = 50000(\text{cm}) = 500(\text{m}) \rangle$ となる。
- ④ Zの左に「50」と書かれた計曲線がある。これを目安に10mごとの主曲線を数えると、Zは約120mとなる。
- ② ① 人口などの変化を表すときに適したグラフは折れ線グラフである。帯グラフや円グラフは、全体における割合を示すとき、項目ごとの数値を示すには棒グラフが適している。

- ② 疑問点を基にテーマを決めたら、なぜそのようになったのか仮説を立てることが必要。仮説に基づいて調査を行い、文章や表、グラフにまとめて、発表をする。
- ③ ② フォッサマグナは、かつて大陸と陸続きだった日本列島が大陸からはなれる際にできた台地のさげ目である。フォッサマグナより東では山脈はほぼ南北に連なり、高い山があるが、日本アルプスより西では、ほぼ東西方向に連なっており、2000mをこえる山はない。
- ③ ④ 飛騨・木曾・赤石山脈をふくむ一帯は、標高3000m前後の山が連なり、日本アルプスとよばれる。
- ⑤ ① は川が山間部から平野や盆地に流れ出た所に土砂が扇形にたまってできた扇状地である。② は川が海や湖に流れこむ河口に土砂でうめ立てられた三角州である。
- ④ ① 日本の気候は大きく、日本海側と太平洋側に分けられる。冬は大陸からふく季節風によって日本海側は雪や雨が多く、太平洋側は乾燥する。夏は太平洋からふく季節風が太平洋側に雨を多く降らす。
- ② ① の雨温図では、冬の降水量が少ないため太平洋側のB、②は冬に降水量が多いので日本海側のAである。
- ③ 日本は東北地方北部と北海道が冷帯(亜寒帯)で、その他の地域は主に温帯に属している。
- ⑤ ① 2011年3月11日に起きた地震は東北地方太平洋沖地震であり、この地震によって発生したあらゆる災害を総称して東日本大震災とよぶ。
- ② 写真1は仙台空港が津波の被害を受けたときの様子である。
- ③ 火山の噴火では、溶岩や火山灰、火山れきが噴出し、周囲の地域に大きな被害をあたえる。また、火山から比較的近い地域では、高温のガスや石、火山灰などが高速で広がる火砕流が発生することがある。
- ④ 自然災害による被害の範囲や程度を示した地図を防災マップ(ハザードマップ)とよぶ。ハザードマップは、住んでいる地域で想定されている自然災害が書かれているため、事前の防災や避難に活用できる。

- 6 ① ② 日本は少子高齢化が進み、人口ピラミッドは、1930年代の富士山型から1960年代にはつりがね型へ、現在はつぼ型へと変化していった。また、大都市と郊外との間では、かつては郊外のニュータウンなどの人口が増加するドーナツ化現象が起こったが、1990年代以降、再び都心へ人口が流入してきている。
- 4 ④ 過疎化が進む地域は、都市からはなれた山間部や離島などを中心に広がっている。
- 7 ① 日本は鉱産資源に乏しいため、必要な資源の多くを輸入にたよっている。石炭、天然ガス、鉄鉱石の輸入相手国第一位はオーストラリアで、石油はサウジアラビアが第一位である。
- ② ブラジルは鉄鉱石を多く輸出しており、日本はオーストラリアの次に多くの鉄鉱石をブラジルから輸入している。
- ③ 石炭や石油、天然ガスを燃やして出るエネルギーをもとに発電する方法は火力発電で、現在の日本の発電量の約66%をしめている。
- ④ 火力発電は、燃やすと地球温暖化の原因になる温室効果ガスを発生させる石炭や石油、天然ガスを燃やすことで発電する方法である。ここでは「地球温暖化の原因になる温室効果ガスを排出する」ことが書いてあれば正解。
- 8 ① ② 太平洋や瀬戸内海沿岸に連続して形成された工業が盛んな地域を太平洋ベルトとよぶ。太平洋ベルトには多くの工業地帯・地域がふくまれている。
- ③ 太平洋ベルトは、1960年代の高度経済成長期に形成された臨海型の工業地域である。また、新幹線や高速道路なども整備され、三大都市圏を中心にさまざまな産業も発達していった。
- ④ 2016年における自給率80%以上の作物は米と野菜だけである。日本の食料自給率は先進国の中でも低く、食料の多くを輸入にたよっている。
- 9 ① グラフから、自動車と鉄道の割合がどのように変化しているかを読み取りましょう。高速道路網の整備によって、自動車輸送の割合が増えている。ここでは「自動車輸送の割合は増加」「鉄道輸送は減少」の2点が書いてあれば正解。
- ② 貨物輸送は、貨物の種類によって輸送方法が異なる。石油や石炭などは大型船、個別の輸送はトラック、そして、半導体などの小型で軽量なものは航空機で輸送されることも多い。
- ③ 将来的には東京（品川）から大阪までの開通を計画しているリニア中央新幹線は、品川～名古屋間の工事が進められている。開通によって、三大都市圏の移動時間が大幅に短縮される。
- 10 ① 合計特殊出生率とは、一人の女性が15歳から49歳までに産む子どもの数の平均。
- ㊶ 東京圏と大阪圏の合計特殊出生率は低いが、平均年齢は46歳未満なので×。
- ① 東京圏と大阪圏の合計特殊出生率は低く、人口増加については、地図Ⅰ・Ⅱからは判断できないので×。
- ② ㊶ 北海道は、平均年齢は48歳以上で高いため×。
- ① 北海道は、合計特殊出生率が1.4未満で低いので×。

p.38-39

Step 3

- ① ① A 日高山脈 B 奥羽山脈 C 関東山地
D 中国山地
- ② C
- ③ 日本アルプス
- ④ 扇状地
- ⑤ ㊶
- ⑥ 三角州
- ② ① C ② B ③ A
- ② B → C → A
- ③ A
- ④ ドーナツ化現象
- ⑤ 例 都心部の地価が下がり、再開発が進んだため。

- ③ ① A 札幌 B 仙台 C 広島 D 福岡
 ② 地方中枢都市 ③ 太平洋ベルト
 ④ 北陸工業地域
 ⑤ ①× ②× ③○ ④○
 ⑥ ㊦

考え方

- ① ① ② 日本の気候を日本海側と太平洋側に分ける要因は、季節風をさえぎる山地・山脈である。奥羽山脈や越後山脈、中国山地などは季節風をさえぎる向きに連なるが、Cの関東山地は位置と向きから、気候を日本海側と太平洋側に分けるものではない。
- ④ ⑤ 地形図を見ると、等高線の形状が扇形に広がっていることから扇状地だと判断する。扇状地の中央部は扇央とよばれ、水はけがよく日がよく当たるため、果樹の栽培に適している。
- ⑥ この地図は、大きな川が海に流れこむ場所である。川によって運ばれた土砂が積もってうめ立てられた地形で、三角州という。
- ② ① ② 三つのグラフを人口ピラミッドという。Aは、年少人口（15歳未満）と老年人口（65歳以上）が少ない人口構成を表す現在の日本の人口ピラミッドである。Bは、年少人口が多く、老年人口が多い人口構成。1930年代の日本の人口ピラミッドである。Cは、少子化が始まる時期で、年少人口が減り始める人口構成を表す。1960年代の日本の人口ピラミッドである。先進国ほどAになる傾向が強く、発展途上国はBの形が多い。
- ③ 過疎地域では若者が流出し、高齢者が残される傾向があるため、老年人口が多く、年少人口が少なくなる。よってAの形となる。
- ④ 大都市は地価が高く、郊外に住居を持つ人が増えることをドーナツ化現象とよぶ。中央部が空洞となる例えとしてドーナツと名付けられている。
- ⑤ 1990年代になると都心の地価が下がり、再開発が進むと、郊外から都心へと人口が流れた。これを都心回帰という。ここでは「都心部の地価が下がり、再開発が進んだ」ことが書いてあれば正解。

- ③ ① ② 札幌、仙台、広島、福岡は代表的な地方中枢都市である。また、人口50万人以上の都市を政令指定都市とよび、新潟、岡山、熊本などがふくまれる。
- ③ ④ Xは太平洋ベルトで、1960年代の高度経済成長期から形成された臨海型の工業地域である。日本海側で唯一の北陸工業地域だけは太平洋ベルトに属さない。
- ⑤ ① 人口100万人以上の都市を見ると、札幌と仙台を除くすべての都市が太平洋ベルトにあるので×。
- ② 東北地方など、人口密度が1～300人/k㎡の比較的人口密度の低い地域には、工業地帯・地域がないため×。
- ⑥ ICT産業はインターネットを活用した新しい産業で、三大都市圏に多くの企業が集まっている。

第3章 日本の諸地域①

p.40 Step 1

- ① カルデラ ② シラス ③ 間伐
 ④ 再生可能エネルギー ⑤ 促成栽培 ⑥ 水俣病
 ⑦ エコタウン ⑧ たため池 ⑨ 本州四国連絡橋
 ⑩ ストロー現象 ⑪ 瀬戸内工業地域
 ⑫ 養殖 ⑬ 村おこし

p.41-43 Step 2

- ① ① a 九州山地 b 阿蘇山 c 桜島 (御岳)
 ② カルデラ
 ③ シラス
 ④ ① 那覇 ② 福岡
 ⑤ 例 台風の影響で雨が多い。
 ② ① A 筑紫平野 B 宮崎平野
 ② A ㊦ B ㊠ ③ ㊡
 ③ ① 洞海湾
 ② 公害対策基本法
 ③ エコタウン
 ④ 水俣病

④ ① A 中国山地 B 四国山地

② a ㊦ b ㊧ c ㊨

③ a 鳥取 b 高松 c 高知

④ ㊦ ⑤ ため池

⑤ ① A ㊦ B ㊨ C ㊩ D ㊧ E ㊯

② C

③ 石油化学コンビナート ④ ㊦

⑥ ① 過疎地域 ② ㊨

考え方

① ② b の火山は阿蘇山で、噴火によって火山灰や溶岩がふき出したあとに大きなくぼ地ができた。この地形をカルデラとよぶ。鹿児島湾もカルデラに海水が入ってできた湾である。

③ 九州南部には過去の大規模な噴火によって積もった噴出物からなる地層が広がっている。この地層をシラスとよぶ。シラスは水はけがよく田には向かないため、畑作や牧畜が行われている。

④ ①は平均気温が高いので那覇、②は降水量が宮崎ほど多くないことを考えると福岡となる。

⑤ 九州地方に雨が多いのは、梅雨前線と台風の影響である。ここでは「台風」が書いてあれば正解。

② ① ② A の筑紫平野は九州を代表する稲作地帯で、冬は同じ耕地で小麦などを栽培する二毛作が行われる。B の宮崎平野では温暖な気候を利用して、ビニールハウスによる野菜の促成栽培が行われている。

③ 九州には火山や温泉が多く、地熱発電所が多い。地熱発電とは、地下にある高温の熱水や蒸気のエネルギーを利用する発電である。

③ ① 北九州市は、洞海湾を中心として鉄鋼業で発展してきた。

② 1960年代、環境をかえりみない工業生産によって、大気汚染や水質汚濁といった公害が発生した。1967年、国は公害対策基本法を定め、福岡県と企業が協力して、けむりや排水に厳しい基準を設けるなど、環境に優しい工業生産を行うようになっていった。

③ 北九州市は環境に対する取り組みが評価され、国からエコタウンに指定された。

④ 四大公害病とは、国が指定した公害病で、水俣病のほかに、新潟水俣病（新潟県）、イタイイタイ病（富山県）、四日市ぜんそく（三重県）がある。

④ ② a は日本海側なので、冬に降水量の多い㊦。b は瀬戸内なので、降水量が少ない㊦。c は太平洋側なので、夏の降水量が多い㊨。

④ ⑤ 写真の池は、降水量の少ない瀬戸内で、生活用水や農業用水を得るために整備されたため池である。

⑤ ① 本州と四国を結ぶ連絡橋は4か所、本州と九州とは関門橋の他に鉄道と道路の関門トンネルで行き来ができる。

② 本州と四国を結ぶ連絡橋のうち、鉄道が通っているのは、C の瀬戸大橋である。

③ a は倉敷市で、水島地区には石油精製や関連する企業や工場が集まる石油化学コンビナートがある。

④ 石油化学コンビナートでは石油を精製するほか、化学製品が作られる。瀬戸内工業地域は化学製品出荷額の割合が比較的高く、24.4%ある。

⑥ ① 若者が流出し、高齢者の割合が高くなると、地域の税収も減り、医療や教育、公共交通などの公的サービスの提供が難しくなる。このように、人口流出によって社会生活が困難になった地域を過疎地域という。

② ㊦は、徳島県上勝町の事例、㊨は、香川県直島の事例である。

p.44-45

Step 3

① ① A 中国山地 B 四国山地 C 九州山地

② 阿蘇山

③ カルデラ

④ 火山灰

⑤ 桜島（御岳） ⑥ X

② ① Y ② B ③ ため池

④ 例 季節風が中国山地と四国山地によってさえずられ、雨が少ないため。

⑤ C ⑥ 促成栽培

⑦ ㊦

3 ① A ⊕ B ①

2 石油化学コンビナート

3 ⊕

4 X 関門橋 Y しまなみ海道 Z 瀬戸大橋

5 ① × ② ○ ③ ○ ④ ×

考え方

1 2 3 D は阿蘇山で、噴火によって火山灰や溶岩がふき出したあとに、カルデラとよばれる大きなくぼ地ができた。

4 5 E は桜島（御岳）で、活発な火山活動のため噴火による降灰がはげしく、鹿児島市では克灰袋とよばれる袋を配布して、灰を回収している。

6 北九州市は国からエコタウンに指定され、リサイクルを推進している。X が上がって Y が下がっていることから、X がリサイクル率で、Y がごみ排出量である。

2 1 2 図の矢印は季節風を表しており、X は海上をわたるため湿気をふくんだ空気となる。中国山地や四国山地をこえる際、雨や雪を降らせるため、瀬戸内海にふく Y はかわいた空気となる。

3 4 写真 I はため池で、雨が少ない瀬戸内の香川県の様子である。4 は「季節風が中国山地と四国山地によってさえぎられ、雨が少ない」ことが書いてあれば正解。

5 6 写真 II は高知平野のビニールハウスで、温暖な気候を利用して、野菜の促成栽培を行っている。促成栽培は、通常の出荷時期より早く出荷することで、市場で高く取り引きすることができる利点がある。

7 野菜の促成栽培は、宮崎平野でも盛んである。

3 1 岡山県倉敷市や広島県福山市、呉市などには製鉄所があり、鉄鋼の生産が盛ん。倉敷市の水島地区や山口県周南市、愛媛県新居浜市などには、石油化学コンビナートがある。

2 石油化学コンビナートには、石油精製や関連する企業や工場が集まっている。

3 石油化学コンビナートでは石油を精製するほか、化学製品が作られる。瀬戸内工業地域の工業製品別の出荷額を見ると、機械の次に化学製品が多い。

4 X は下関（山口県）と門司（北九州市）を隔てる関門海峡をわたるため関門橋とよぶ。

5 Z は岡山県倉敷市と香川県坂出市を結ぶ瀬戸大橋である。

① 愛媛県今治市は、しまなみ海道の四国側の出入口なので×。

④ 山陰ではなく四国と本州を結ぶ連絡橋なので×。

第3章 日本の諸地域②

p.46

Step 1

- ① リアス海岸 ② 紀伊山地 ③ 大阪大都市圏
- ④ 阪神工業地帯 ⑤ ニュータウン ⑥ 再開発
- ⑦ 京都（市） ⑧ 日本アルプス
- ⑨ 名古屋大都市圏 ⑩ 中京工業地帯
- ⑪ 東海工業地域 ⑫ 施設園芸農業 ⑬ 高原野菜
- ⑭ 精密機械工業 ⑮ 地場産業

p.47-49

Step 2

- ① ① A 琵琶湖 B 播磨平野 C 大阪平野
D 紀伊山地 E 淡路島
- ② リアス海岸
- ③ 例 波の静かな入り江が多くあるため。
④ ① a ② c ③ b
- ② ① 阪神工業地帯
② A エ B ア
③ ニュータウン
④ ターミナル駅
- ③ ① ① ⊕ ② ①
② 過疎
③ ア, ①
- ④ ① A 飛騨山脈 B 木曾川 C 信濃川
D 濃尾平野 E 越後平野 F 甲府盆地
② ① b ② a ③ c
③ 輪中
- ⑤ ① ⊕
② 化学
③ 東海工業地域
④ ア ⑤ 電照菊
- ⑥ ① 高原野菜 ② ①
③ 盆地名 甲府盆地, 地形 扇状地
④ 例 秋の長雨をさけるため。

考え方

- ①② 2か所のXは、北は若狭湾、南は志摩半島南部を指している。これらの海岸は陸地がしずんで、谷に海水が入ってできた地形で、複雑な入り江が続く。
- ③ 志摩半島南部のリアス海岸は、波が静かな入り江があるため、いかだを使う真珠の養殖に適している。ここでは「波の静かな入り江がある」ことが書いてあれば正解。
- ④ ①は、冬の降水量が多いことから日本海側のaである。②は、夏の年間降水量がとても多いのでcである。残る③は、bとなる。
- ②①② 大阪湾の臨海部にある工業地帯とは、阪神工業地帯である。この工業地帯では機械の出荷額が最も多く、金属が続く。
- ③ 神戸市は六甲山地が海にせまっており、平地が少ないため、丘陵地をけずってニュータウンを建設した。けずった土はうめ立てに利用し、ポートアイランドなどの人工島の建設に役立てた。
- ④ 梅田や難波など、郊外を結ぶ鉄道の起終点や乗りかえをする駅はターミナル駅とよばれ、再開発が進められている。
- ③① 地図の凡例の色分けを見て答えましょう。奈良県南部・三重県南部の人口増減率は10%以上減少しており、過疎化が進んでいる。一方、大阪府、京都府、滋賀県南部は増加している。
- ②③ 過疎化が進む奈良県川上村では、都市部の人たちとの交流を通して村の活性化を図り、また、商品の移動販売を行い、暮らしやすい村づくりを進めている。
- ④② 中部地方の気候は三つに区分される。北陸は冬の降水量が多く、太平洋側は冬に乾燥する。中央高地は気温が低いことが特徴である。
- ③ 濃尾平野の揖斐川、長良川、木曾川に囲まれた標高が低い地域は、洪水から暮らしを守るために輪中とよばれる堤防が築かれてきた。

- ⑤① 中京工業地帯は自動車工業が盛んなため、機械の出荷額割合が約70%と高い。
(2016年)
- ② 四日市市にあるのは石油化学コンビナートなので、「化学」があてはまる。
- ③④ 東海工業地域では、浜松市のオートバイや楽器、富士市の製紙などの工業が発達している。
- ⑤ 電照菊とは、夜間に照明を当てて育てる菊である。照明を当てることで花の開く時期をおくらせ、菊が高く売れる秋から冬に出荷する。
- ⑥①② 長野県川上村などの標高の高い地域では、すずしい気候を利用して、夏に暑さに弱いレタスを栽培し、他の地域が出荷しない時期に出荷している。このような野菜を高原野菜という。
- ③ 山梨県の甲府盆地はぶどうやももなどの果樹栽培が盛んである。山のすそ野にできた扇状地は水はけがよく、日が当たるため、特にぶどうの栽培が盛んである。
- ④ 通常10月に収穫する米を9月ごろに収穫する米を早場米という。北陸地方では秋に長雨が降るため、収穫の時期を早める必要がある。ここでは「秋の長雨をさける」ことが書いてあれば正解。

p.50-51

Step 3

- ① ① a 木曾山脈 b 赤石山脈 c 紀伊山地
② リアス海岸
③ 真珠
④ 木曾川
⑤ 輪中
⑥ X 阪神工業地帯 Y 中京工業地帯
⑦ ① Y ② X
- ② ① 大阪大都市圏
② ①○ ②○ ③× ④○
③ 例 大阪などに通勤や通学で通う人が多いから。
④ ①, ②
- ③ ① I ② ③ ④ ⑤
② 例 標高が高く、夏でもすずしいから。
③ ⑦, ⑧ ④ ⑨

考え方

- ① ② ③ Aの海岸はリアス海岸で、波が静かな入り江があるため、いかだを使う真珠の養殖に適している。
- ④ ⑤ 木曾川下流の地域は、洪水から暮らしを守るために輪中とよばれる堤防が築かれてきた。
- ⑥ ⑦ Xは阪神工業地帯で、化学工業の出荷額割合が比較的高い。Yは中京工業地帯で、機械工業の割合が非常に高い。
- ⑧ ① 大阪を中心に、神戸や京都、奈良などに広がる地域を大阪大都市圏という。
- ② ③ 昼間は、周辺地域から大阪市への人の流れが多いので×。
- ③ 昼夜間比率が低いということは、昼間の人口が少ないことを示す。宝塚市は大阪中心部の近郊にあるため、通勤や通学で大阪に行く人が多い。ここでは「大阪などに通勤や通学で通う人が多い」ことが書いてあれば正解。
- ④ Xの人工島は、六甲山地の丘陵地をけずってニュータウンを造ったときの土砂をうめ立てて造られた。
- ⑤ ① 写真Ⅰは静岡県島田市の茶、写真Ⅱは愛知県渥美半島の電照菊、写真Ⅲは山梨県甲府盆地のぶどうの栽培の様子である。
- ② グラフから長野県のレタスが夏に出荷されていることを読み取る。長野県川上村などでは標高が高いため、暑さに弱いレタスを夏に出荷できる。ここでは「標高が高く、夏でもすずしい」ことが書いてあれば正解。
- ③ ㉠ レタスは暑さに弱い作物なので誤り。
㉡ 野菜の価格は出荷量に関係するので誤り。
- ④ 甲府盆地のぶどう畑は、水はけがよく日がよく当たる扇状地に多い。

第3章 日本の諸地域③

p.52

Step 1

- ① 関東ローム ② からっ風 ③ 東京大都市圏
- ④ 昼間人口 ⑤ 京葉工業地域
- ⑥ 北関東工業地域 ⑦ 近郊農業 ⑧ リアス海岸

- ⑨ やませ ⑩ 男鹿のナマハゲ (なまはげ)
- ⑪ 伝統的工芸品 ⑫ 地場産業
- ⑬ 東北地方太平洋沖地震

p.53-55

Step 2

- ① ① A 越後山脈 B 関東山地 C 関東平野
D 利根川
- ② ① 関東ローム
- ③ ① c ② b ③ a
- ④ ヒートアイランド現象
- ⑤ ① 神奈川県
② 世界都市 ③ ㉠
- ⑥ ① 京葉工業地域
② ㉠, ㉡
③ 高原野菜
④ 近郊農業
- ⑦ ① A 奥羽山脈 B 北上川 C 最上川
D 山形盆地
- ② やませ
- ③ リアス海岸
- ④ 養殖
- ⑤ ① b ② a
- ⑥ 潮境
- ⑧ ① ① ねぶた祭 ② 花笠まつり
② ㉡, ㉢
- ③ (名前) 男鹿のナマハゲ (なまはげ)
(国の指定) 重要無形民俗文化財
- ④ ① ㉠ ② ㉡ ③ ㉢
- ⑥ ① e
② 北アメリカプレート
③ 津波
④ 例 住宅を高台に移転する。

考え方

- ① ② 関東平野の台地は、箱根山や富士山などの火山の灰が堆積した関東ロームとよばれる赤土におおわれ、畑作地帯となっている。
- ③ ①は、一年を通して雨が多いのでc。②は冬に乾燥するのでb。③は、冬の冷えこみが激しいので内陸のa。
- ④ アスファルトにおおわれ、ビルが多い都市では、夜になっても気温が下がらないヒートアイランド現象が見られる。

- ② ① 「東京23区への通勤・通学者」の図を見ると、神奈川県について、埼玉県、千葉県から東京へ通勤・通学する人が多いことがわかる。
- ② 東京は、ニューヨークやロンドンとならんで世界都市とよばれる。
- ③ 東京都心への通勤・通学者が多いことから、昼間人口が夜間人口よりも多いと考えられる。
- ③ ① 東京と千葉を結ぶ臨海部に形成された工業地域のため、「京葉」と名付けられている。
- ② 京葉工業地域は、臨海部に形成され、化学製品の出荷額割合が約40%と多いことが特徴である。
(2017年)
- ③ 群馬県の標高の高い地域では、すずしい気候を生かした高原野菜の栽培が盛んである。
- ④ 茨城県や千葉県などでは、大消費地である都心に近いことを生かした近郊農業が盛んである。
- ④ ② Xは、夏にオホーツク海高気圧の影響でふく冷たくしめった風で、やませという。やませによる、冷気や日照不足で冷害が起こることもある。
- ③ ④ Yはリアス海岸である。波が静かな入り江が続くため、こんぶやわかめ、かきの養殖が盛んである。
- ⑤ ①は冬に乾燥するので、太平洋側の気候。
②は冬の降水量が多いので、日本海側の気候である。
- ⑥ ① 三陸海岸沖には、寒流の親潮（千島海流）と暖流の黒潮（日本海流）がぶつかる潮境がある。潮境はプランクトンが豊富で、寒流と暖流の魚がいるため、好漁場となる。
- ⑤ ② ㊦ 古くから伝わる伝統行事を大切にするための努力が続けられ、毎年多くの人参加しているのが誤り。
㊧ 東北地方の夏祭りは、古くから行われているので誤り。
- ③ 秋田県の男鹿のナマハゲは、国の重要無形民俗文化財に指定されている。
- ④ 東北地方では、冬の間、雪で農作業ができないため、家の中でできる工芸品づくりが早くから始まった。

- ⑥ ① ② 東北地方太平洋沖地震は、北アメリカプレートの下に太平洋プレートが入りこむことが要因で起こり、マグニチュード9.0の大地震であった。
- ③ ④ 東北地方太平洋沖地震では津波が発生し、沿岸に大きな被害をあたえた。国は自治体と協力して堤防を築く工事を進め、また、高台に新たな宅地を造成するなどの対策を進めている。ここでは「住宅を高台に移転する」ことが書いてあれば正解。

p.56-57

Step 3

- ① ① A 奥羽山脈 B 越後山脈 C 北上川
D 利根川
- ② X 黒潮 Y 親潮
- ③ 例 暖流と寒流がぶつかる潮境のため。
- ④ 例 リアス海岸で、波がおだやかな湾が多いため。
- ⑤ ① b ② a
- ⑥ やませ
- ② ① 京葉工業地域
② 北関東工業地域
- ③ I ㊦ II ㊧ ④ ㊦
- ⑤ 例 群馬県は高原野菜で、他の3県は近郊農業である。
- ③ ① 工場団地
- ② ①× ②○ ③× ④○
- ③ 9 (9.0)
- ④ 例 東北地方の太平洋側を震源とする地震が多く、津波の被害が予想されるため。

考え方

- ① ② ③ 潮境とは、寒流と暖流がぶつかるところである。三陸海岸沖には、寒流の親潮（千島海流）と暖流の黒潮（日本海流）がぶつかる潮境がある。潮境はプランクトンが豊富で、寒流と暖流の魚がいるため、好漁場となる。③は「暖流と寒流がぶつかる潮境」ということが書いてあれば正解。
- ④ 「リアス海岸で、波がおだやかな湾が多い」ことが書いてあれば正解。
- ⑤ ①は冬に乾燥するので、太平洋側のb。②は冬の降水量が多いので、日本海側のa。

- ⑥ 夏にオホーツク海高気圧の影響でふく冷たくしめった風で、やませという。
- ② ① ② ③ 写真Ⅰの京葉工業地域は、原料を大型船で運ぶ臨海型の工業地域で、石油化学、製鉄が盛んである。写真Ⅱの北関東工業地域は、広い土地や豊富な労働力を生かした自動車などの機械工業が盛んである。
- ④ グラフの群馬県、千葉県、神奈川県、茨城県の割合を合わせると、66.9%となる。
- ⑤ 群馬県の標高の高い地域では、すずしい気候を生かした高原野菜として出荷しており、平地の3県については都心に近いことを生かした近郊農業を行っている。ここでは「群馬県は高原野菜で、他の3県は近郊農業」ということが書いてあれば正解。
- ③ ① ② 近年、東北地方に半導体や自動車などの工場が進出し工業団地が造られた。
 - ① 工業団地は内陸部にも分布しているので×。
 - ③ 空港近くに立地するのは、軽量で小型の半導体などをつくる工場なので×。
 - ④ 「東北地方の太平洋側を震源とする地震が多い」「津波の被害が予想される」ことが書いてあれば正解。

第3章 日本の諸地域④

第4章 地域の在り方

p.58

Step 1

- ① 濃霧 ② アイヌの人々
- ③ 防災マップ (ハザードマップ) ④ 養殖
- ⑤ 客土 ⑥ 十勝平野 ⑦ 酪農
- ⑧ エコツーリズム ⑨ 国際連合 ⑩ 課題
- ⑪ 要因 ⑫ 提案

p.59-61

Step 2

- ① ① A 北見山地 B 日高山脈 C 石狩川
- ② ① a ② b ③ 濃霧
- ④ 流氷 ⑤ アイヌ (の人々)
- ② ① 有珠山
- ② ユネスコ世界ジオパーク
- ③ 例 玄関が二重になっている。
- ④ ロードヒーティング

- ③ ① 石狩平野
- ② 客土
- ③ 十勝平野
- ④ 輪作
- ⑤ 根釧台地
- ⑥ 酪農
- ⑦ さっぽろ雪まつり
- ⑧ 世界遺産 (世界自然遺産)
- ④ ① SDGs
- ② ①, ②
- ⑤ ① ③, ④
- ② ⑦, ⑧
- ③ ①, ②
- ⑥ ① ③

考え方

- ⑤ ① ② ①は冬の降水量が多いので、日本海側のa。②は冬に乾燥するので、太平洋側のb。
- ③ Xの地域には、夏に南東からのしめった季節風が寒流で冷やされ、濃霧が発生する。
- ④ Yの海には、冬になると流氷が流れてくる。
- ⑤ 北海道の先住民はアイヌの人々で、自然に根差した生活・文化を確立してきた。
- ② ① ② 2000年に有珠山が噴火し、ふもとの洞爺湖温泉などに大きな被害が出た。付近は、環境や防災について学べるユネスコ世界ジオパークに認定された。
- ③ 「二重とびらの玄関」の他、「中央部を低くして雪を排出する構造の屋根」「断熱材が入った壁」「二重の窓」「大きな石油タンク」などを書いてよい。
- ④ 雪国では、道路の下に電熱線や温水パイプを通して、積雪を防ぐロードヒーティングが整備されている道路が多い。
- ③ ① ② 石狩平野は農業に適さない泥炭地が広がっていたが、他から土を運びこむ客土によって、稲作が盛んになった。
- ③ ④ 十勝平野では土にふくまれる養分のバランスを保つために、異なる作物を順番に行っている。
- ⑤ ⑥ 根釧台地や十勝平野では、酪農が盛ん。
- ⑧ Yは知床で、2005年に世界遺産 (自然遺産) に登録された。

- ④ ① ② 国際連合が定めた、2030年までに世界各国が持続可能な社会づくりのために取り組むべき17の目標を、SDGsという。
- ⑤ ① ㊦ 資料から宮崎市の総人口のことはわからないので誤り。
① ㊦ 郊外は高齢者が多いので誤り。
② ④ 中心市街地の高齢者の割合は郊外よりも低いので誤り。
④ 高齢者割合と事業所数とは関係がないので誤り。
③ ㊦ 高齢化の進行と観光業とは関係がないため誤り。
④ 資料から、事業所が郊外に移転する背景が読み取れないので誤り。
- ⑥ ① 高齢者に、自動車の運転や高層マンションへの移住をすすめることは、提案として不適切なので誤り。

p.62-63

Step 3

- ① ① A 北見山地 B 日高山脈 C 石狩平野
D 十勝平野 E 根釧台地
- ② ① a ② b
- ③ (畑) 約16倍 (水田) 約7倍
- ④ ㊦, ①
- ② ① 有珠山
② 例 防災マップを活用した避難訓練を徹底したため。
③ ㊦ ④ 養殖
⑤ ①, ㊦
- ③ ① ①○ ②× ③× ④○
② ①㊦ ②㊦ ③㊦ ④㊦

考え方

- ① ② ① 冬に雪が多く降るのは、日本海側の a。
② 雪の量が少ないのは、太平洋側の b。
③ 畑は $\langle 12.9 \div 0.8 = 16.125 \rangle$ なので約16倍。水田は $\langle 8.2 \div 1.2 = 6.83... \rangle$ なので約7倍。北海道の農家は全国と比べて、広い耕地を営んでいることがわかる。
④ ㊦ 北海道の農作物は、全国の市場に出荷しているので誤り。
④ 根釧台地は農作物の栽培には適さないため、酪農が盛んなので誤り。

- ② ① ② 2000年の有珠山噴火では、付近の洞爺湖温泉などに大きな被害をあたえたが、防災マップ(ハザードマップ)を活用した避難訓練を行ってきたことから、人命の被害はでなかった。防災マップには被害の想定範囲と程度がかかれており、避難経路の確保などに活用できる。
- ③ 北海道ではにしん漁が盛んだったが、とり過ぎなどで水あげ量が減り、代わってすけとうだらなどの漁が盛んになった。
- ④ 海洋での魚が減ってくるなど、漁業環境が悪くなってきたこともあり、育てとる漁業が盛んになってきた。北海道でもほたてがいなどの養殖が増えてきている。
- ⑤ 北洋漁業とは、ベーリング海やオホーツク海で行われる漁業で、根室や釧路は拠点の漁港だった。
- ③ ① ② 郊外は高齢者の割合が高いため、子どもの数は減少すると考えられるので×。
③ 中心市街地ほど高齢者の割合は低いので×。
② 提案などを行う際に、事実と主張だけを伝えるのではなく、主張を支える理由、裏付けがあると、より明確に主張が相手に伝わる。これらを図式化したものが、問題にかかれた図で、「トゥールミン図式」という。
①は、主張の基になる事実なので㊦「中心市街地に人が集まらなくなっている。」が当てはまる。
②の主張は㊦の「バスなどの公共交通を充実させる。」である。
③の主張を支える理由は㊦の「郊外に住む『交通弱者』も中心市街地に出かけやすいまちにしたい。」である。
④の裏付けは㊦の「郊外で少子高齢化が進んでいる。」ことが当てはまる。